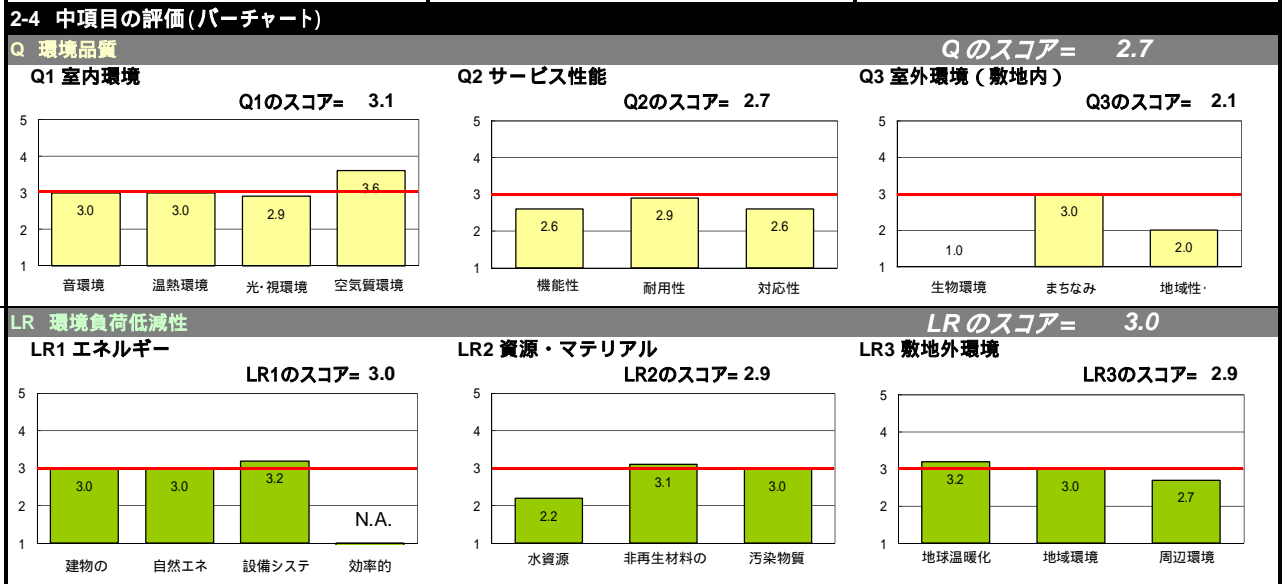
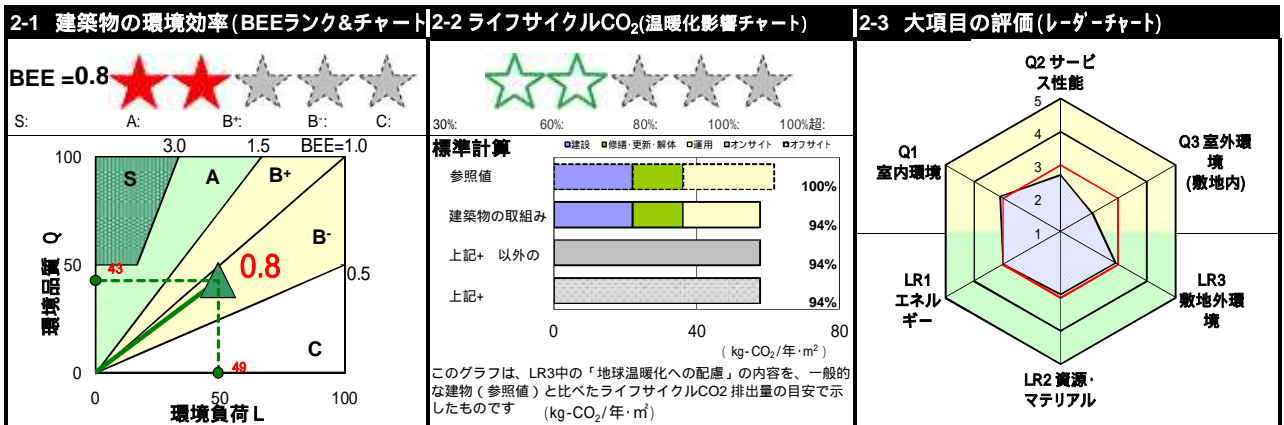


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	第一大和様M新築工事	階数	地上8F
建設地	大和市南林間6-3689-12、13、15	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	123 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2013年12月1日
敷地面積	1,229 m ²	作成者	大東建託(株)大和支店
建築面積	452 m ²	確認日	2013年12月20日
延床面積	2,437 m ²	確認者	大東建託(株)大和支店

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項	
総合 敷地の南側を前面道路を含めて10M程度開放(平置き駐車場+道路)し、北側は道路を含めて31M程度開放(平置き駐車場+道路)緑地を出来るだけ確保し、自然の採光をふんだんに取り込み、風通しの良い空間づくりを行い、近隣に溶け込む様に配慮した	その他 特に大きく目立った取り組みはしていないが、工事に埃を出さない、建ってから廻りの住民にゴミ置場の問題にて迷惑をかけない、工事中に路上駐車をしないなど小さい事に配慮した
Q1 室内環境 界壁及び床に騒音の伝わりにくい材料を選択した。(壁、防振加・リング、発砲ウレタン)又、バルコニーをすべて南側に向け太陽光を十分に得られる様に配慮した。	Q2 サービス性能 天井高さや室面積のゆとりの確保、 インタ - ネットの接続など 配慮しました
LR1 エネルギー 何の手法も取り入れていない	LR2 資源・マテリアル 道路のセットバック部分に再生骨材を利用するなど配慮した
	Q3 室外環境 (敷地内) 外構緑地指数を1.071%以上(屋上緑化を含む81.45m ² 6.62%)又空地率を60.81%以上など自然な風の通りを出来るだけ妨げない様、配慮した。
	LR3 敷地外環境 北側駐車場の入口はを道路に直接向ず、南側は道路より1Mセットバックした

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される